

月刊 よみうりだより

皆さまこんにちは。店長の貝野瀬です。

梅雨も明け、いよいよ夏本番ですね。本来であれば山や海、イベントに出掛けたい所ですが、今のご時世なかなか思うようにいきません。

そんな中でも一部の人には、ボッチキャンプと言って独りでキャンプするのが流行っている様ですね。有名タレントがキャンプ用の山や土地を買うとか、それに関連した用具や料理など色々と皆新しい楽しみ方を考えているんだなあと感心してしまいます。忙しい人は自宅の庭やマンションのベランダでテントを張って楽しんでいるらしいです。今度自分も独りバーベキューあたりからチャレンジしてみようと思っています。自宅で非日常を味わうのも良いかも。。。夏の思い出にいかがですか？

この暑さも一時。しばらくすれば涼しくなってきます。夏風邪などひかれぬようどうぞご自愛ください。

【佐々木昭さんの絵手紙】 第9回



【作者：佐々木昭(92歳)】 大字笹野在住

米沢絵手紙の会事務局・米沢俳句会事務局・米沢郵趣会事務局でご活躍中

スタッフからのご挨拶

皆さん、こんにちは。阿部新聞店、日中業務(営業・集金)責任者の玄番です。

いつも新聞のご購読をしていただき誠にありがとうございます。

当店では、「読者の皆様に満足をお届けする」ことを方針として掲げております。

今年から新たな取組みとして行っているのが、全社員が役割分担を行い、責任者としてサービスや仕事の質の向上をはかるということです。具体的には早朝業務担当・物品販売担当・配達ミス撲滅担当・折込業務改善担当・事務作業改善担当など役割を分担し、それぞれの担当者が問題点の洗い出しを行い、改善策を施しておりました。

毎月一度開催している全社員でのミーティングでは、担当部門ごとの成果発表を行っており、さらに毎週月曜日には、営業社員によるミーティングも行い、お客様に「より良いサービス」をご提供するため、議論を重ねております。

この他にも、産直品やお役立ち商品などの物品販売、森永乳業商品を用いた健康のご提供など、様々な業務も展開して、お客様にご希望やご要望に添えるよう頑張っております。

ご意見やご要望などがありましたら、何なりとお申し付け下さい。

今後ともご愛顧のほど、宜しくお願い申し上げます。



東大通3丁目の「三沢看板さん」へ行ってきました

三澤社長と奥様にお聞きしました♪

○今日は読者の方から「ご利益のある製作物を手掛けている看板屋さんがある」と聞いたので伺いました。まず初めに業務内容を教えてください。

弊社は東大通3丁目で屋外看板の企画・設計・デザイン・製造設置などを行っており、昭和40年に父が創業者として立ち上げ、今年で56年目になります。



○三澤さんが三沢看板さんで働き始めたのはいつからですか？

子どもの頃から父の背中を見て憧れがありましたので、将来は会社を継ぎたいと思っていました。しかし、一度は他の会社に勤めて色々な経験も積んでおきたいと思いましたが、高校卒業後は仙台の内装や看板を手掛ける大手の会社に入りました。そちらでは最新技術の看板製作や考え方などを教わり、8年間勤めた後、26歳の時に米沢に戻り三沢看板で働き始めました。

○仙台での経験をすぐに活かすことができたのでしょうか？

私が三沢看板に入った頃は、父が手書きでの看板作りを主としておりました。昔、丸の内や中央に映画館がありましたが、その映画館内や会場前の看板も多数製作していたようです。伴淳三郎さん(ばんじゅん)をご存じでしょうか？米沢市出身の方で、俳優やコメディアンとして活躍されていましたが、亡き後は毎年のように米沢市内でばんじゅんを偲ぶ映画祭が行われていたそうで、そのたびに父が看板製作の依頼を受けていました。そのような活動も通じて、地元の看板屋として地域の皆さんから仕事をいただいていたと思います。

私が三沢看板で働き始めた当初は、父の指示に従い活動することも多かったのですが、お客様のご要望がより高品質なものを求めるようになってきたこともあり、2~3年後にコンピュータを導入し、さらに最新の業務用プリンターも購入しました。設備投資をしたことで、お客様のニーズに応じた製作が可能となり、さらには製作時間も大きく削減できるようになりました。



業務用プリンター

それ以降はご注文に応じて、父の手書きと私がコンピュータを用いた二つの形態での看板作りを進めていきました。

○看板製作事例を見ると、米沢市内のあちこちで見かける馴染みある看板がとても多いですね。当店のスタッフから聞いたのですが、全国に店舗がある「コスココ」の看板も作っているらしいと。

数年前にお客様からご縁をいただき、上山市にある外資系の全国展開している小売店のガソリンスタンドの看板制作の依頼をいただきました。大手や地元の看板屋さんではなく、私どもの米沢の小さな看板屋に注文をいただきましたので、今まで培ってきた技術を結集して作り上げ納品させていただきました。実は、その小売店でガソリンスタンドを開設するのは、上山店が全国発ということで大きな注目を集めたようです。上山店納品後は、北海道から名古屋まで全国14店舗のチェーンスタンドからもご依頼をいただくことができました。

このような大きな仕事もいただくことができ感謝の気持ちでいっぱいですが、もっと良い仕事をして多くの皆さんに喜んでいただきたいと思う気持ちも一層強くなりました。

○ところで、昨年コロナウイルス騒ぎの際は「アマビエ」のステッカーを作り、多くの人に配ったのですよね。

元々のきっかけは、ご近所の方に「アマビエ」のステッカーの製作依頼をいただき作ったことでした。アマビエなど聞いたことも無かったので、何だろうと思い調べてみたところ、「疫病よけに効くとされる妖怪」と書かれていたものですから、アマビエをデザインしたステッカーを作れば、魔除けなどのお守り代わりになりお客様方のお役に立てるかもしれないと思いました。そこで自分なりのデザインで製作し、完成したステッカーをお客様や年賀状を出している方に手渡しや郵送して配りました。

○なるほど、それがきっかけだったのですよね。それからの反響がとても大きかったのですよね。

当時は非常事態宣言の真っ最中で、誰もが恐怖感でいっぱいだったと思います。そのような時にちょうどマスクでもアマビエが取り上げられ始めていたタイミングでしたので、「アマビエステッカー」をお客様や知人に配り始めるやいなや、欲しいという方が続出しました。Facebook(フェイスブック・インターネット上で繋がりを作っていくサービス)でもそれを載せたところ、今度は全国各地の友人知人からも希望者が殺到しました。

弊社はその当時コロナウイルスの影響を受け、5月4日の成人式をはじめ各種イベントなども軒並み中止となり、残念ながら仕事が激減していた状況でした。そのため、幸か不幸かステッカー作りをする時間がありましたので、ひたすら製作し希望者に配りました。

アマビエだけで1,000枚以上作り、郵送も200件ほど送ったと思います。当時はすべて無償で行ったので費用は掛かりましたが、日本全国気落ちした状態の時でしたから、お渡しした皆さんの喜ぶ顔をたくさん見ることができ、少しは社会貢献できたかなと思私たちも嬉しく思いました。



妖怪アマビエ
最初に作ったのがこちら↑
「疫病退散」

《座敷わらし》がやってきました
次はこちら↑
「疫病退散」したら「幸福到来」を期待したいと思って♪

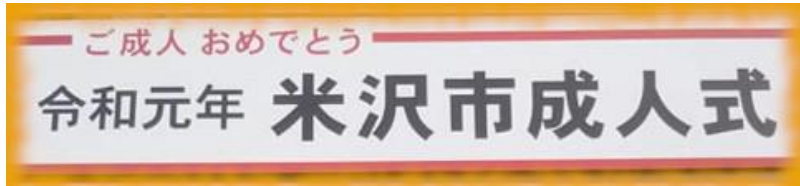
○無償でそこまで行うとは、本当に頭が下がります。

私たちの看板製作業は、景気や社会情勢の影響を受けやすい業界です。だからこそ、ご縁をいただいた皆様に笑顔を届けていく活動をしていくことが、会社にとって一番大切なのではないかと思います。今回のステッカー作りを通じて、そのような気づきができたのは良かったと思います。

○最後に読売読者に伝えたいことがあれば教えてください

私たちは地元を元気にしたいという気持ちも強く持っており、地域の皆さまに愛されるお店を目指して頑張り続けます。下記の製作物の他にも、身近な看板も多数作っております。何かあればご相談だけでも結構ですので、お気軽にご連絡ください。

製作物の一部です♪



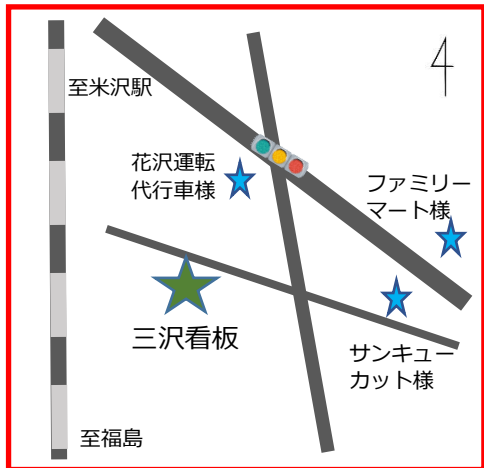
有限会社 三沢看板
 米沢市東大通3丁目10-23
 TEL:0238-23-9436
 <営業時間> 8時30分~17時
 <定休日> 日曜・祝日

製作事例は ←こちらでご覧いただけます

QRコード: ホームページ, Facebook ページ



奥様の真理子さんと三澤正義社長



「みんなのつぶやき広場」

暑さと湿気に悩まされる日々。何とか気持ちだけでも明るく過ごしたいものです。明るい応援Tシャツで精一杯オリンピック選手を応援したいと思っています。TVでですが(笑)

匿名希望


自然災害はこわいです。それでも米沢は大きな災害が少ないと感じます。(雪害は少なからずあるでしょうが・・・)
 友達が言っていたのですが、米沢は毘沙門天様が見守ってくれている・・・と。

匿名希望

ワクチン接種2回終わったので、少しは行動範囲が広げられるかな。
 (万世町桑山 I様)

何回出せば当たるのでしょうか。

匿名希望

掲載希望の方は ①FAX 24-4370 ②ご応募はがき ③QRコード  でお知らせください

フレイル講座その② 座りながらもも上げ

6月15日(火)読売新聞朝刊記事より

フレイルとは



日本老年医学会が2014年に提唱した概念で、健康な状態と要介護状態の中間に位置し、身体的機能や認知機能の低下が見られる状態を指すが、「適切な治療や予防を行うことで要介護状態に進まずにすむ可能性がある」とされており、健康な状態と日常生活でサポートが必要な介護状態の中間を意味する。

- ①椅子には浅く腰掛け、背筋を伸ばす。両足は腰幅くらいに広げ、床にしっかり着ける。両手で座面を握ってバランスを取る。
- ②「1、2、3、4」と数えながら、膝を胸に引きつけるように上げる＝写真＝。足首には力を入れず、つま先は軽く下に向ける。
- ③「5、6、7、8」でゆっくりと戻す。余裕がある人は、足を床に着けないようにガマン。
- ④片方の足で②と③を10回繰り返す。もう片方の足も同じようにする。



譲渡前講習会は再開されておりますが、新型コロナウイルス感染防止のため、当面のあいだ予約制とさせていただきます。譲渡前講習会を希望される方は、下記連絡先へお電話ください。



性別：オス
年齢：約5歳
お手やお座りできます。
さみしがり屋さんです。



←ホームページ

置賜総合支庁生活衛生課(置賜保健所) 0238-22-3750

※掲載情報は7月21日現在です。

よみうりだより読者プレゼント!



下記のクイズにお答えいただいた方抽選で**15名様**に
「ご利益ステッカー」プレゼント!



お好きなどころに貼って下さい

✂

氏名
住所
電話番号

プレゼントにご応募される方はクイズの答えを書いて下さい

答え：アマ○○○

上記の内容を「よみうりだより」に掲載してもよろしいですか?
 実名可 ニックネーム可 イニシャル可 匿名希望
 (金池1山田様) (金池1イケメンババ様) (金池1Y様)

【今月のクイズ】

疫病除けに効くとされる妖怪「アマ○○」は、今の熊本県の海から現れたとされ、人間と魚の特徴を持った妖怪で、アマ○○の姿を写して人に見せれば悪い病気から守ってくれると、言い伝えられてきたそうです。そこで問題! 妖怪「アマ○○」の「○○」に当てはまる言葉を書いてください!

※注意「アマエビ」は間違いですよ☹️

応募方法

左記の申込書にご記入の上、点線より切り取り
 当店にご持参されるかはがきに貼ってポストへ投函してください。
 <ポストへ投函される方は63円切手が必要です。
 当店へご持参される方は切り取った用紙だけで結構です>
 ※個人情報厳重に管理いたします。外部への開示や提供は致しません

【応募締切】8月20日到着分まで 【景品お届け】8月下旬以降

【編集後記】よみうりだより創刊号の発行が平成30年8月。おかげ様で3年が経過しました。皆様のお力添えもあり、コツコツ続けることができました。感謝申し上げます。これからも「継続は力なり」で発行してまいりますので、ご協力よろしく願いいたします。なお、「やまちゃんの社会科見学コーナー」は、9月号では割愛させていただき、<絵手紙・つづやき・読者プレゼント>の簡易版の発行とさせていただきますので、よろしく願いいたします。(山田)



阿部新聞店
RBE SHINBUN TEN

読売センター米沢

〒992-0012 米沢市金池 1-5-36

TEL 0238-23-2281 FAX 0238-24-4370

【8月の新聞購読料集金】8月23日より開始いたします

【8月の新聞休刊日】8月16日(月)です

【よみうりだより9月号】9月5日(日)発行予定